

オートリターン・メタルセンサー

自動復帰機能搭載機

(商標権取得、特許出願中)

1. 作業の安全性とコスト削減（メタルセンサーとは？）

建物全般の改修工事におきまして、電動工具（ハンマードリル）等によるあと施工アンカー打設作業時に、金属感知機能により埋設の金属配線損傷を未然に防ぐ事が可能です。

- 電管損傷等によるコンピューターの停止、セキュリティシステムの誤作動等の事故が無くなり、安全に作業できます。
- 配管損傷後の復旧作業も要せず、コスト削減に繋がります。

2. 作業の能率 UP（自動復帰機能とは？）

アンカー打設作業時に、ハンマードリルの刃先が金属に触れると瞬時に電流がストップし、刃先を離すと約1秒で自動復帰します。

- 次の作業にすぐに取り掛かれる事から、作業能率は格段にUPします。

3. 作動原理

躯体に接地している金属部分に、入力側アース線を接続することにより、ハンマードリル等の刃先が金属に触れるとメタルセンサー回路に微弱電流（人体にはまったく影響ありません）が流れ、それをセンサー内部で増幅反応して約0.1秒以内に電源を遮断します。

4. 注意事項

- 電源元が建物の躯体（金属部）に（アース線により）接地されている事、及び、延長コードや電動工具にはアース線をつなぐ事で、本機が作動します。
- 接地していない金属や樹脂管、塩ビ管などに触れてもセンサーは働きません。
- アース線をガス管に接続する事は、引火・爆発の恐れがあり非常に危険ですので絶対にやめて下さい。
- 水使用でのコアドリル、湿式のハンドドリルでは動作抵抗値の関係でセンサーが過剰に反応することが予測されますのでご注意ください。
- 作業前の作動確認は必ず行って下さい。